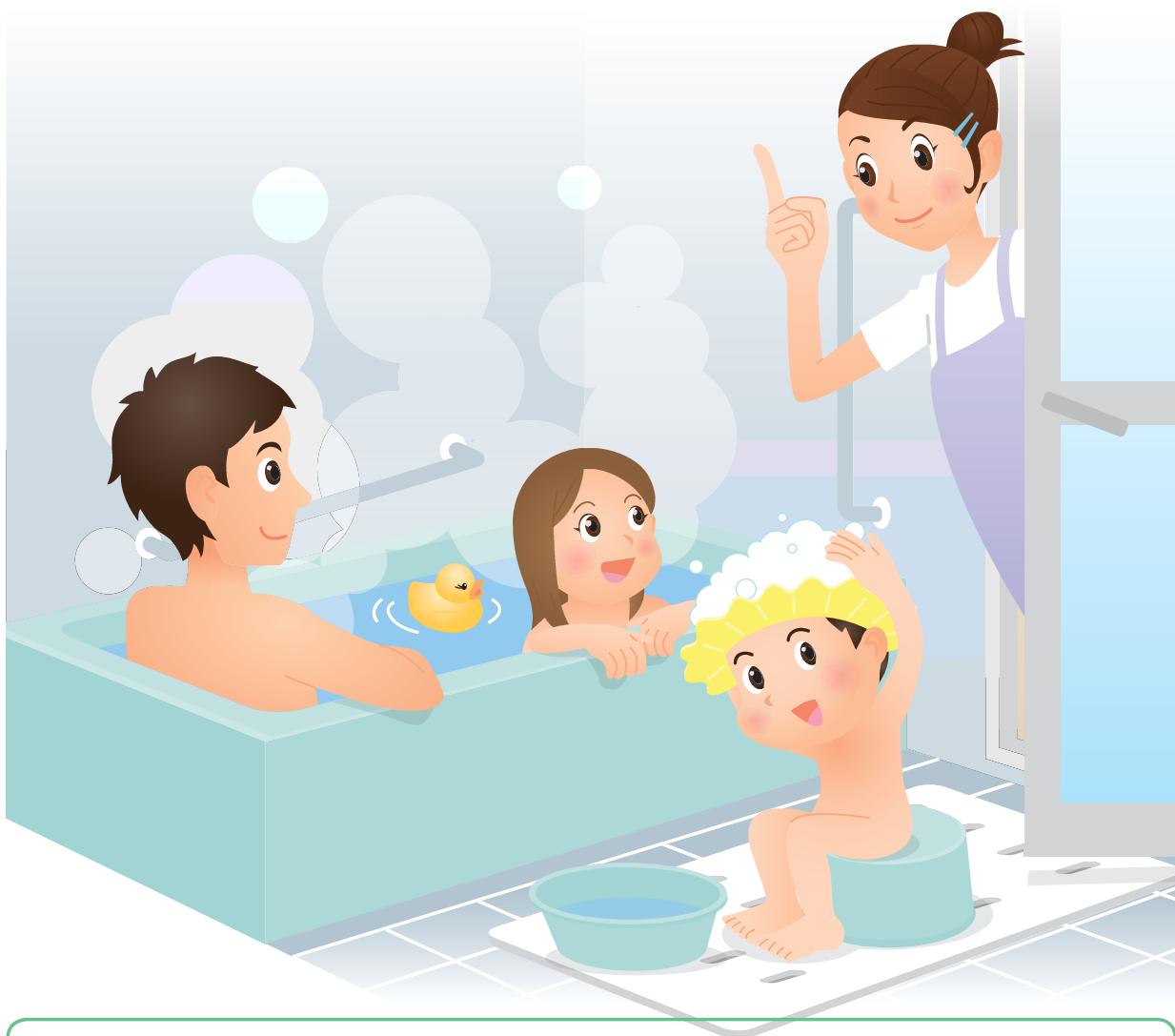


お風呂・トイレの危険 事故防止ガイド

ヒヤリ・ハットレポート No.4



東京都では、浴室・洗面所・トイレに関するヒヤリ・ハット体験や危害の経験を掘り起こすためにインターネットアンケート調査を行いました。その結果、お風呂回りにはさまざまな危険が潜んでいることがわかりました。

このガイドは、調査結果に基づき、お風呂回りでの事故を防ぐためのポイントをまとめたものです。

お風呂場や洗面所、トイレには

4000人に調査。転倒や転落、打撲、やけど、発火などいろいろな事故が発生し

自由回答から特徴のある事例を紹介すると…

入浴剤で滑って転倒 (141人)

- 入浴剤を使用したところ、浴槽から出ようとした際に滑って顔が湯船に沈んだ。(保湿成分がある入浴剤)
- 子供が一人で入浴剤を入れた浴槽に入っていたが、滑って全体がお湯の中に沈んでしまった。
- 粒状の入浴剤が溶けていなくて、子供を抱っこして入るときに滑りそうになった。



入浴剤で滑って転倒する事故は、子供から高齢者まで幅広く起きています。

しつりタイプの入浴剤など、種類によっては滑りやすくなることがあります。入浴剤の溶け残りに注意するとともに、慎重に浴槽への出入りをすることが必要です。

浴槽のふたから転落 (31人)

- 子供がふたにふざけて乗っていたら、滑って浴槽に落ちて溺れかけた。
- ふたの上にベビーバスを置いて使っていたらふたがずれて湯船に落ちた。



浴槽のふたは人が乗るようにはできません。子供を遊ばせたり、置いたりすると、大変危険です。

アロマキャンドルなどでやけども (17人)

- アロマキャンドルを使っていて、浴槽が溶け始めて、消そうとして火傷しそうになった。
- アロマキャンドルを使っていて、ろうそくが消えた直後にすぐに移動させようとしたら少し火傷した。
- ガラス製品にお湯とアロマオイルを入れて、お風呂の窓枠に置いていたら、不注意でガラスが割れて、足を切った。



アロマキャンドルなど、火を使う製品はたとえ小さなものでも危険が伴います。また、浴室内外にガラス製品を持ち込むと、破損した際にケガをしやすくなります。十分注意が必要です。



カビ取り剤のトラブル (174人)

- カビ取り剤を使った際、服と手に薬品が付いた。紺色の服は色が変わってしまい、手がかぶれた。
- 換気が不十分だったのでカビ取り剤で苦しくなった。
- 手袋をせずにカビ取り剤で掃除をしていたら、手がただれてしまった。



カビ取り剤は効果が高い半面、使用や保管には注意が必要です。換気を十分にすることや、手袋などの保護具を身に付けるなどの注意が重要です。十分気をつけて使用しましょう。

いろいろ危険が潜んでいます

ています。63%の人がお風呂等でケガをしそうになった・ケガをした経験あり

ヒヤリ・ハットとは 実際にケガややけど等には至らなかったが、ヒヤリとしたりハッとした事例
危害とは 商品などが原因で実際にケガややけどをした事例

ドライヤーの発煙・発火 (268人)

- 20年くらい使用していた古いドライヤーをいつもどおりに使っていたら、ポンという軽い爆発音がして焦げ臭くなつた。
- コードがねじれていて、コードの付け根から灰色の煙が出てきた。

長期間使用したドライヤーは、コードの一部が断線したり、内部に埃が溜まつたりなどすることがあり、場合によっては大変危険です。



トイレ内の打撲 (126人)

- トイレの掃除をしているとき、床の掃除をした後、勢い良く立ち上がった際、壁面の手すりに思い切り頭をぶつけた。かなり大きなたんこぶが出来た。
- しゃがんで床を拭いた後に、手すり兼タオル掛けがあるのを忘れて立ち上がりろうとして、頭を強打した。

トイレでは、床の掃除中に立ち上がるとき頭をぶつけたケースが多くありました。手すり、タオル掛け、収納ボックスなどに十分気をつけて清掃しましょう。



カミソリで切った (366人)

- 洗面台に収納していたカミソリを、子供が引っ張り出して遊んでいて、切ってしまった。
- ひげ剃り中、子供が大声で泣き始めたので、そちらを向いたときに首筋を少し切ってしまった。

洗面所で一番多い事例です



カミソリはケガを生じやすい製品です。子供が触れないように保管することはもとより、使用する際も周囲に気をつけながら使いましょう。

ドアで指はさみ (248人)

- 5歳の子供がトイレのドアを開けたときに足の親指のつめを引っ掛けて少しばがれた。
- 1歳の子供がトイレのドアを閉めようとして、ドアの間に手の指先を挟んだ。

トイレで一番多い事例です



ドアでの指はさみは場合によっては爪をはがすなどとても重大な事故につながります。子供が遊ぶことがないよう気をつけましょう。

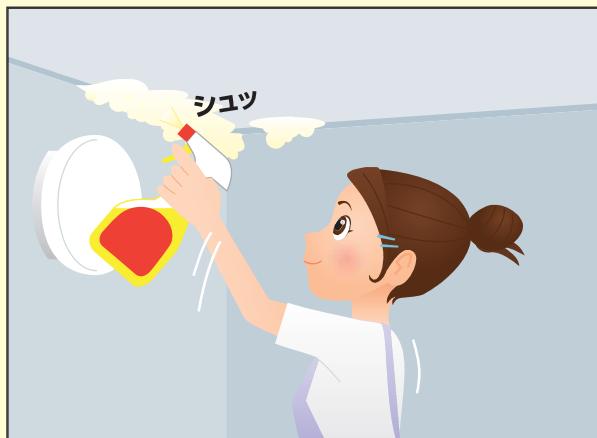
お風呂回りでは、こんな

ちょっと目をはなした すきに転落

子供と一緒にお風呂に入っていて、洗い場で自分が頭を洗っていて子供から目を離したすきに浴槽に転落した。ものすごい音がしたので、すぐ気付き引き揚げたので、大泣きしただけですんだ。

カビ取りスプレー

手袋をせずに天井のカビ取りをしていた。泡が出るスプレータイプのものだが、液だれというか泡が不安定になり液状化して天井から落ちてきて手が荒れた。



事故が発生しています

ドライヤー

- コードがねじれているのを気にせず使つたら、コードの付け根がパチンと発火した。
- かなり古いドライヤーで、髪を乾かしていたら、焦げるようなにおいがして、バチバチと火花が散った。

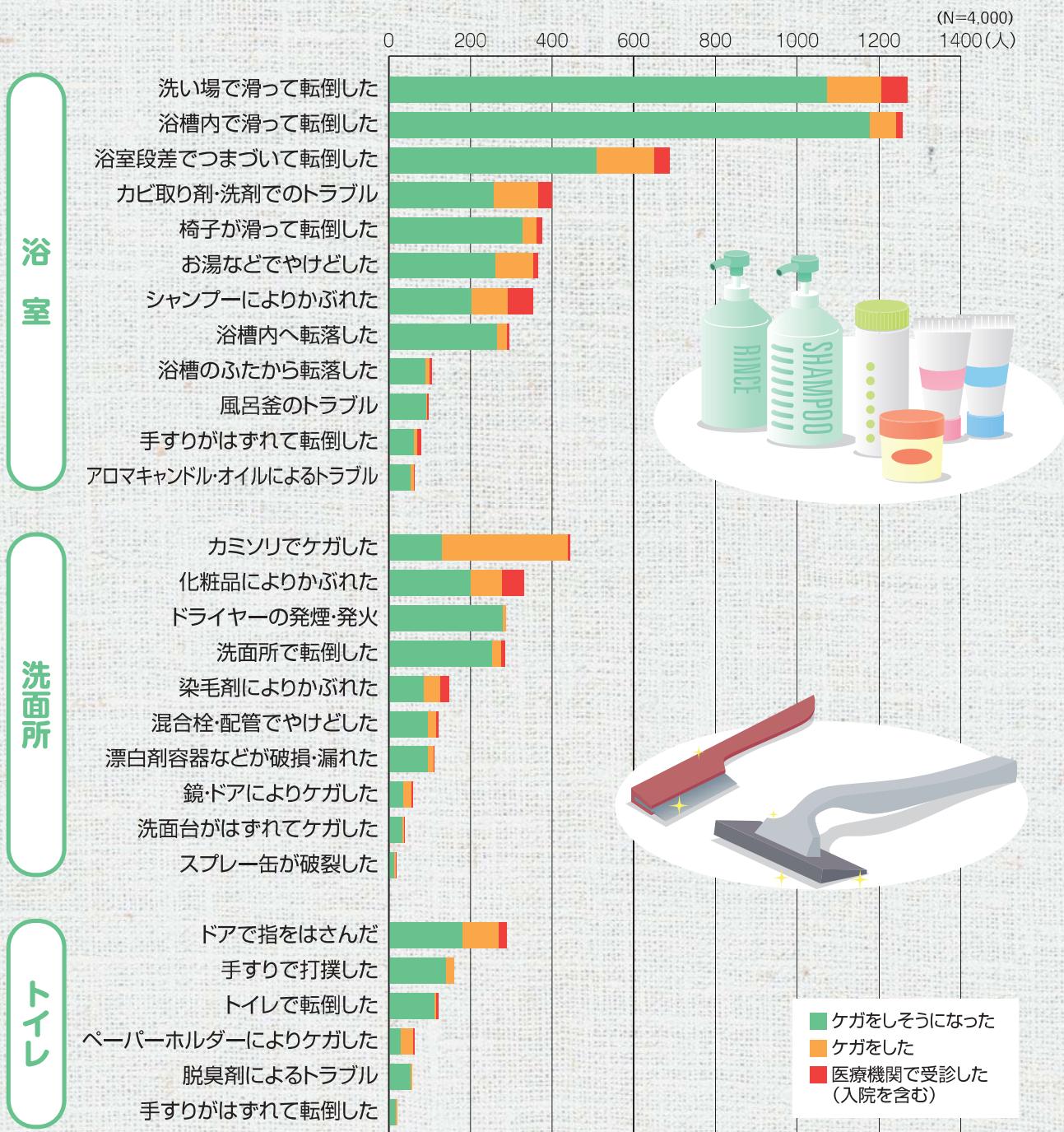


ひげ剃りをしていたら

- T字カミソリでひげを剃っていたら、家族にぶつかれて少し切ってしまった。
- ひげを剃っていたら、子供に後ろから抱きつかれ、頬に切り傷を作った。



ヒヤリ・ハットや危害の経験とケガの程度



- ヒヤリ・ハットおよび危害を経験した人のうち、浴室が55%、洗面所が25%、トイレが13%いました。また、浴室・洗面所・トイレ全体では63%の人がヒヤリ・ハットまたは危害を経験していることがわかりました。
- ヒヤリ・ハット・危害の経験は、洗い場や浴槽、洗面所などでの滑り・転倒が多く、次いで浴室の段差でのつまずきによる転倒が多くなっています。
- 「化粧品」「カビ取り剤・洗剤」「シャンプー」「染毛剤」などでは、かぶれや炎症などの皮膚障害の経験者が多いことがわかりました。
- 入院した事例は、「洗い場での滑り・転倒」60歳以上2人、「浴室段差でのつまずき・転倒」75歳以上1人、「浴槽内へ転落」乳幼児1人、「浴槽のふたから転落」乳幼児1人などがありました。浴室では高齢者と乳幼児は特に注意が必要です。

こんな点に注意しましょう

■お風呂での注意点

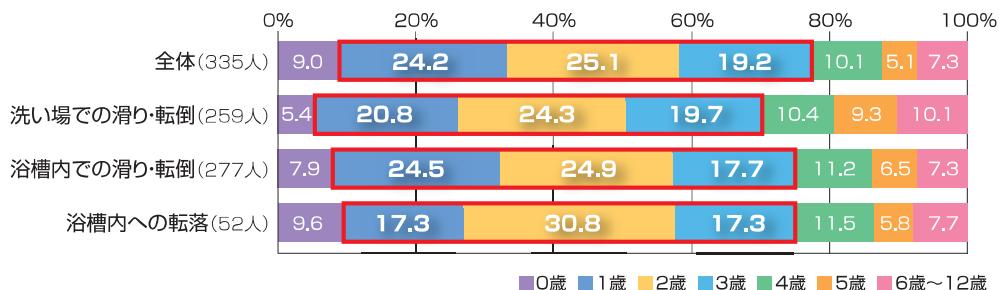
- ・浴室での事故は、洗い場で滑って転倒することにより、骨折や打撲するケースが多く、手すりの設置など転倒を防ぐ工夫が必要です。
- ・浴室の床に石鹼や洗剤などが残っていたため滑って転倒した事例も多数報告されています。浴室では、足元に注意するなど慎重な動作が大切です。
- ・特に入浴剤利用時には、滑りに注意しましょう。



特に乳幼児では…

お風呂場での転倒・転落を経験したときの年齢を見ると、1～3歳が6割を超えています。この年齢層は、活発に動くようになる一方、バランスなどがまだうまくとれず、事故の発生が高いと考えられます。また、入浴時以外の溺水にも注意が必要です。簡単に浴室に入れないようにして、子供だけで浴室で遊ばないよう十分気をつけましょう。

●危害を経験したときの子供の年齢

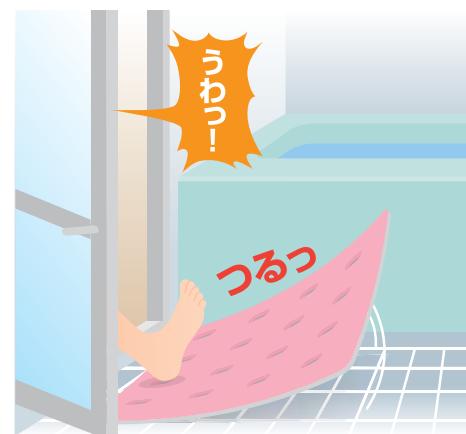


特に高齢者では…

高齢者は、浴室などで転倒などした場合に重篤なケガを負うケースが多く、特に注意が必要です。

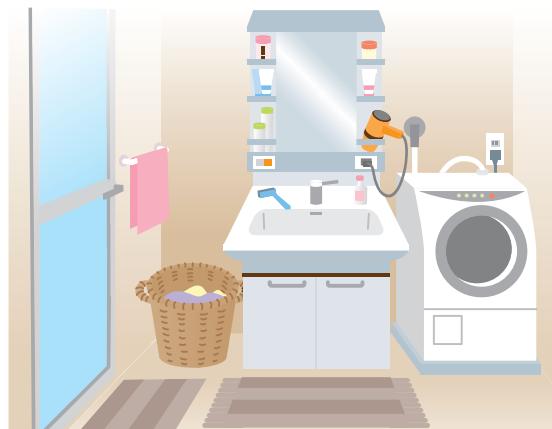
寒さ対策や滑り防止用に敷いたマット・スノコでは、3割もの人がケガをしそうになったりケガをした経験がありました。石鹼やシャンプーが残っているとマット・スノコを敷いていても滑りやすくなります。

また、浴槽と湯の中の温度差で意識を失った事例も報告されました。湯温を低めにしたり、浴室の温度を上げるなどの工夫が必要です。



■洗面所での注意点

- ・洗面所ではカミソリで手や顔を切った事例が多数ありました。取り扱い時は周りに注意して、子供が真似をしないように手の届かない場所に保管しましょう。
- ・化粧品や染毛剤などの皮膚障害も多数発生しています。人によってアレルギー反応に差がありますので、まずはパッチテストを行い、異常を感じた場合はすぐに使用を中止しましょう。



■トイレでの注意点

- ・トイレではドアで手や足の指をはさんだ事例が多く、爪がはがれた事故も発生しています。子供に遊ばせたりしないようにしましょう。
- ・掃除中に頭や腰をぶつける事故も起きています。また、金属製のペーパーホルダーの縁で手を切るような危険も発生しています。危険な箇所がないかチェックしましょう。



調査結果のより詳しい内容については、
以下のページをご覧下さい。



<http://www.anzen.metro.tokyo.jp/>

くらしの安全情報サイトでは、商品・サービスを中心とした危害・危険・安全性といった情報を提供しています。

相談機関

事故にあわれた時、商品やサービスに原因があると思われる場合には、消費生活センターなどの相談機関に申し出ましょう。

**東京都消費生活総合センター
03-3235-1155**

又はお近くの区市町村の相談窓口

インターネットアンケート調査概要

●浴室等に潜む危険

- 調査対象 東京都に居住する20歳以上の男女(4,000人)
- 調査期間 平成22年7月22日(木)～7月28日(水)

●浴室用品等による危険について

- 調査対象 東京都に居住する20歳以上の男女(3,300人)
- 調査期間 平成22年12月16日(木)～12月20日(月)